

編集後記

本論集は、2019年度に埼玉大学教養学部（日本・アジア文化専修課程）・同大学院人文社会科学研究所（国際アジア文化専攻／日本アジア文化専攻）を定年で退職された、武井和人先生のご提案によって企画された。ご退職に際して、晴れがましい行事のたぐいは一切峻拒された先生であったが、その代わりに、共に研究と教育に携わってきた先生方と論集を編むことを、そのタイトルと併せて提案された。幸いなことに、現在本研究科に在籍する先生方に加えて、同年度に転出された成田健太郎先生、先に退職されていた山野清二郎先生、大塚秀高先生のご寄稿をも仰ぐことができ、先生のご退職からちょうど1年を経て、このようにご提案を形にすることができた。ご協力を賜った先生方には、あつく御礼申し上げます。

なお、表紙に用いた写真は、武井先生架蔵的那珂太郎「詩論のためのノート」の草稿から採った。「書くこと／書かれたもの」をめぐる諸問題について、豊かな示唆を含むこの詩人の言葉は、本論集の表紙を飾るのにまことにふさわしいと考える。

2021年3月25日

編集担当（杉浦 晋）